

対策による効果

ハード・ソフト
対策の連携、広域性

地域社会への
インパクト

他分野との連携

対策による評価

意識の変化

③地域住民による緊急時のため池管理・連絡体制の構築 【石川県 志賀町笹波地区】

○地震によるため池の被災を経験したことで、地域住民の防災意識が高まり、防災体制構築の取り組みを実施。
○地域住民を主体とした自助防災組織を構築する等、災害時の実行性が強化。

地域概要

- 笹波地区は、地区住民の平均年齢が67歳と志賀町の集落内で最も高齢化が進行。
- 地区内には大小11のため池が点在。1名のため池管理人が管理。



笹波地区位置図
(出典：国土地理院HP)

対策の内容・結果

ハード整備

【ため池復旧】

- 災害復旧事業にて被災したため池の復旧

ソフト整備

【ハザードマップの作成】

- ワークショップを開催し、ハザードマップを作成
(地域住民含む186名が参加)

【ため池管理体制等の構築】

- 管理人の増員、自主防災組織を設立

【防災訓練の実施】

- 隔年でため池決壊を想定した防災訓練の他、炊き出し訓練等を実施

- 防災意識が向上し、地域主体の防災体制を確立
- 近隣地区住民の訓練参加を検討

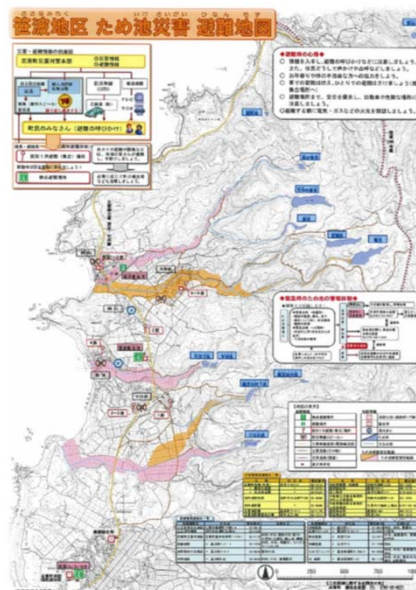
対策の背景

ため池の被災

- H19能登半島地震によりため池が決壊
- 区長等の判断より事前に水位を下げ、下流域への被害を防止



能登半島沖地震による平田池の決壊
(出典：志賀町農林水産課提供資料)



ため池ハザードマップ
(出典：志賀町農林水産課提供資料)



ハザードマップ作成説明会
(出典：志賀町農林水産課提供資料)